



埼玉労働局 0908 第 2 号  
令和 2 年 9 月 8 日

関係団体の長 殿

埼玉労働局労働基準部長



陸上貨物運送事業における労働災害防止に向けた一層の取組について  
(トラック荷台からの転落防止等荷役災害対策の推進)

平素より、労働安全衛生行政の推進につきましては、格段の御理解・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、埼玉労働局では労働災害を減少させるために重点的に取り組む事項を定めた埼玉第 13 次労働災害防止計画（以下「13 次防」という。）において、陸上貨物運送事業における計画期間中の累計死亡者数を前計画期間中（29 人）と比較して 20%以上減少させ 23 人以下とし、死傷災害（休業 4 日以上労働災害をいう。以下同じ。）を平成 29 年（1,062 人）より減少させ 1,061 人以下とすることを目標としています。しかしながら、陸上貨物運送事業における昨年までの計画期間中の累計死亡者数は 10 人にのぼり、昨年の死傷災害は 1,211 件と前年より 5.2%増加となり、増加傾向に歯止めがかからず憂慮すべき状況が続いています。13 次防の目標達成に向けて一層の取組が必要となっております。

新型コロナウイルス感染防止の影響により、宅配需要が急増する中、社会生活の維持に不可欠な業務に取り組まれているところですが、こうした状況下では、労働者が安心して安全に働き続けることがこれまで以上に重要であり、労働災害防止のための更なる取組が必要です。

死傷災害の発生要因としては、荷役作業時における労働災害が全体の約 7 割を占めています。荷役作業時の労働災害では特に荷台からの転落が多く、うちトラック荷台等への昇降時に発生するものがその約 4 割を占めています。

厚生労働省では、従来から「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン（平成 25 年 3 月）」を策定するなど労働災害防止対策に取り組んでいるところですが、今般、厚生労働省と独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所において、トラック荷台への昇降による転落災害を防ぐための安全対策について、別添のとおり取りまとめたところです。

つきましては、貴団体におかれましても、現下の労働災害発生状況について貴団体傘下会員に共有していただくとともに、これを契機として、貴団体傘下の関係事業者、労働者はもとより、荷役作業に関わるトラックドライバー等に対して、荷台昇降時の災害を含めた荷役作業時の安全対策について周知、活用いただき、より一層の安全対策の推進に取り組んで頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

(別添)

リーフレット「労働災害が増えています。荷物の積み降ろしを安全に」

リーフレット「陸上貨物運送事業におけるトラック荷台からの転落を防ぐために 荷台昇降設備・装備はありますか？」

(参考)

- ・「陸上貨物運送事業における重大な労働災害を防ぐためには」
- ・「テールゲートリフターを安全に使用するために」

- ・厚生労働省ホームページ（安全衛生関係リーフレット一覧）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudoukijun/gyousei/anzen/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/gyousei/anzen/index.html)

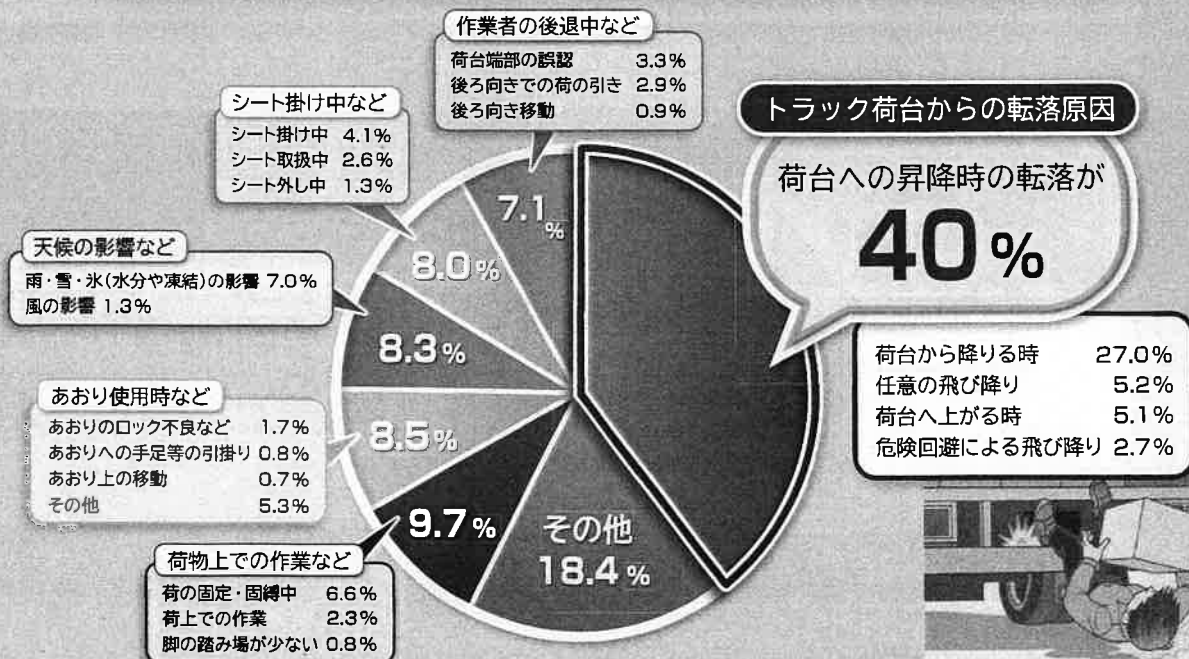
- ・独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所サイト

[https://www.jniosh.johas.go.jp/publication/houkoku/houkoku\\_2020\\_02.html](https://www.jniosh.johas.go.jp/publication/houkoku/houkoku_2020_02.html)

# 陸上貨物運送事業における トラック荷台からの 転落を防ぐために

## 荷台昇降設備・装備はありますか？

陸上貨物運送事業(トラック運送事業)における労働災害は、荷役作業中に発生したものが全体のおよそ7割を占めています。特に荷台からの転落が多いことが知られていて、このうちトラック荷台等への昇降時に発生するものがその約4割を占め、とりわけ荷台から降りる時が約3割を占めることが分かりました。このほかの原因による労働災害は、各要因とも1割にも満たないなど、「荷台から降りる時」などの昇降時が突出しています。このため、本リーフレットでは、トラック荷台への昇降時の労働災害を防ぐために、最新の安全対策とともに、転落防止に役立つチェックポイントを紹介します。



平成27年に発生した陸上貨物運送事業の休業4日以上(災害)を対象にした労働安全衛生総合研究所の分析結果  
(トラック荷台からの転落等による災害データのみを抜粋)



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署



独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

JNIOSSH

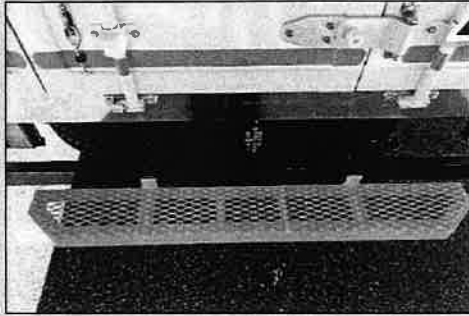
落ちないポイント

1

トラックの荷台は元々高くてワンステップでは上れません。  
もちろん飛び降りもしてはいけません。  
ステップを用意することで無理な昇降になりません。

リヤとサイドにステップを付けて昇降性向上!

## 荷台へ昇降しやすい装備 (ステップ利用①)



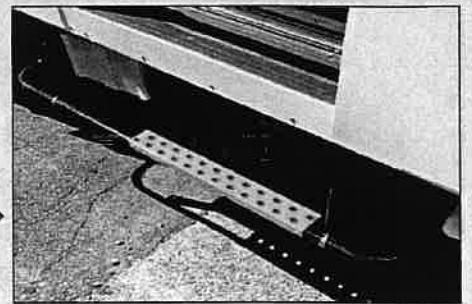
### 「リヤステップ」

バン型車のリヤステップ部を網状にすることで、滑り止めの効果を持たせます。また、降雪時でも雪等が積もりにくくなります。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷凍冷蔵、ウイング、平ボディです。

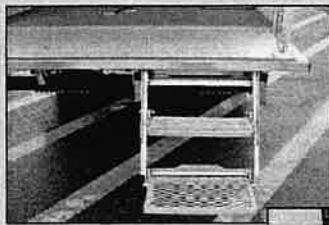
## 荷台へ昇降しやすい装備 (ステップ利用②)

### 「サイドステップ」

バン型車のリヤ・サイドステップ部に突起のある穴あけ加工をすることで、滑り止めの効果を持たせます。また、降雪時に雪等が積もりにくくなります。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷凍です。



# トラック荷台からの 転落防止



## バン型車のリヤステップ利用

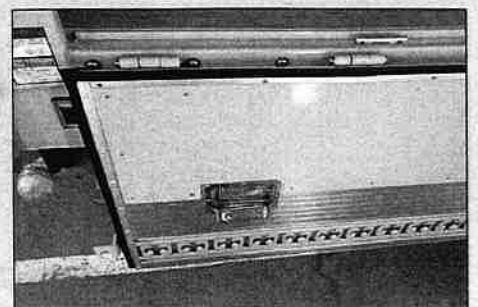
### 「リヤ階段ステップ (格納式)」

リヤドアの下部に取付けて、リヤドアから昇降するための格納式の階段ステップです。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷凍、ウイングです。

## ウイング車のサイドステップ利用

### 「あおり内側回転式ステップ」

あおりの内側に、あおりを下ろした際に回転してステップとなる部分があり、このステップを利用すると荷台への昇降が容易になります。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はウイングです。

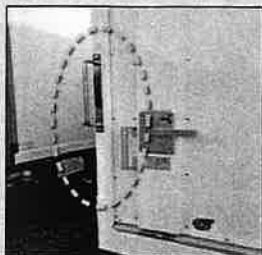


# な対策

グリップを持つことで、ステップから足を滑らせたり、踏み外した場合でも、転落事故を防ぐことができます。荷物を持ちながらの昇降をしてはいけません。

落ちないポイント  
2

## 荷台へ昇降しやすい装備（グリップ利用①）



▲ 鋼製グリップ

▼ ヒンジ連結タイプ



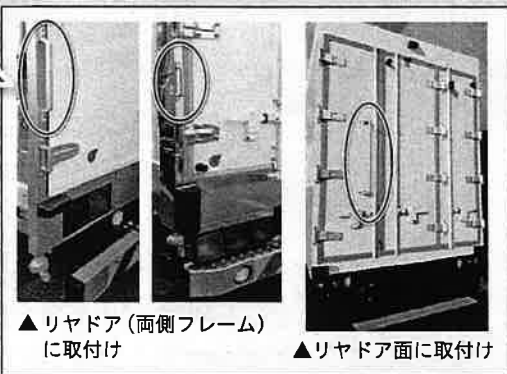
### 「リヤフレーム部グリップ」

グリップを取り付けすることで、荷室・庫内への昇降が安全に行えます。また、ヒンジ連結の長丈タイプはドライバーの身長に関係なく使用できるのが特徴です。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷凍冷蔵、ウイングです。

## 荷台へ昇降しやすい装備（グリップ利用②）

### 「リヤドア面グリップ」

リヤドア面（両端フレーム）にグリップを取り付けて、庫内および庫外に安全に昇降する時のグリップです。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷凍、ウイングです。



▲ リヤドア（両側フレーム）に取付け

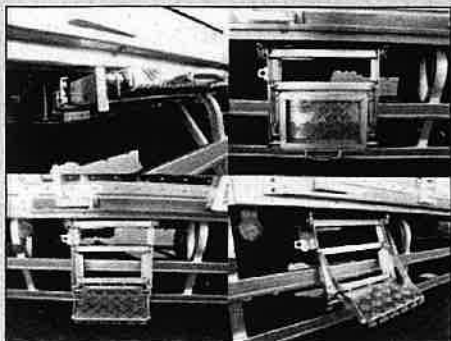
▲ リヤドア面に取付け

# 対策 はここまで進んでいます。

## 格納式サイドステップ利用

### 「格納式ステップ」

ボディより外側に可動式のステップを取り付けることで、昇降性を向上します。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷凍です。



## 持ち運び可能なステップ利用

### 「手すり付荷台用ステップ」

荷台への昇降に、あおりを立てたままでも、下ろしても設置可能なステップです。天板もついているので、身体の向きを変えることもできます。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はウイング、平ボディです。



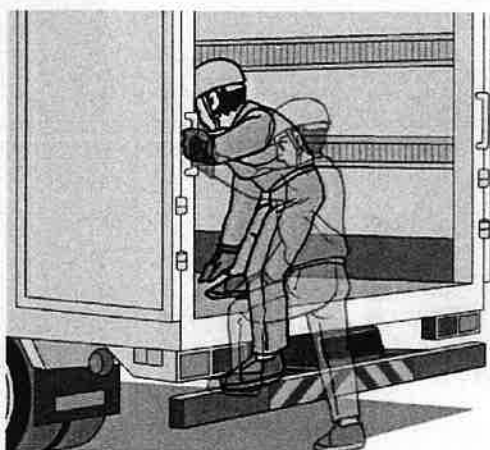
ステップとグリップの合わせ技でがっちり3点支持

# 荷台への昇降中における 転落防止チェックポイント

## 確認してみよう！ 作業手順・マニュアルを再点検

あなたの事業場では、荷台への昇降手順は適切ですか？ ①～③を参照し、点検してみましょう。  
不十分な場合は、本リーフレットで紹介した装備の追加、手順・マニュアルの見直し等を実施しましょう。

注) グリップやステップ等を装備する際には、道路運送車両法の保安基準に適合しているか十分に確認してください。



### 1 バン型車のリヤ部



リヤドアフレームに装備したグリップ(取手)を持ち、足元を見ながらリヤドア下部のリヤバンパーまたはステップに片足をかけて、荷台に上がります。降りる時もグリップを持ったままステップに足をかける順序で、荷台内側を正面にみて後ろ向きに降ります。車体形状の都合上、両手でグリップを持てませんが、荷台の床面に手を添えると前屈み姿勢になるのでより安定します。



### 2 バン型車のサイド部



ドアフレームに装備したグリップ(取手)を持ち、足元を見ながら、サイドステップに片足をかけて、荷台に上がります。降りる時は上がる時の逆の順序で移動します。ちなみにサイド部はグリップをドアフレーム両側に装備できる場合が多いようです。両手で持つと身体が安定し、より安全に昇降できます。



### 3 ウイング車、平ボディ車のあおり



あおりを下ろした時は、ステップだけでなくグリップ(取手)や手がかりがないので昇降するのが困難です。あおり内側回転式ステップの装備、持ち運び可能な荷台用ステップ等を使用しましょう。グリップは車体内部あるいは荷台床面に装備するか、車体の柱等をグリップ代わりに活用しましょう。

本リーフレットの写真等は、国土交通省及び(公社)全日本トラック協会が設置した「女性ドライバー等が運転しやすいトラックのあり方検討会」で取りまとめた成果「【別冊】トラックメーカーなどの取組事例集」から引用しています。



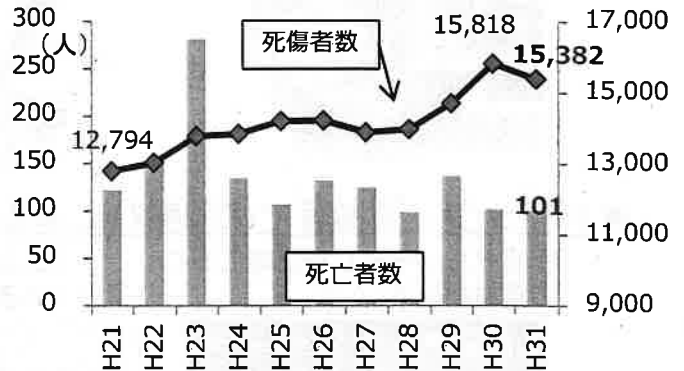
このQRコードから別冊が入手可能です

# 労働災害が増えています！ 荷物の積み降ろしを安全に

## 平成31年／令和元年の労働災害（陸運業）

- ◆ **死亡者数は101人。**
  - ・ 平成29年比で36人（26.3%）減少。
- ◆ **死傷者数は15,382人。**
  - ・ 平成29年比で676人（4.6%）増加。
- ◆ **災害発生率（千人率）は8.55**
  - ・ 全産業平均2.22

陸上貨物運送事業における労働災害発生状況の推移

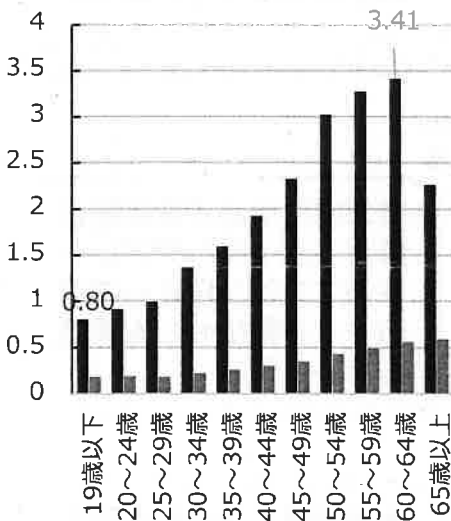


陸上貨物運送事業では、働く人1000人当たりの災害発生率（千人率）が、他の主要な産業と比べてかなり高い水準になっています。キケンな作業をそのままにせず、従業員の命と健康を守るため、作業方法などの見直しに着手してください。

詳細は裏面

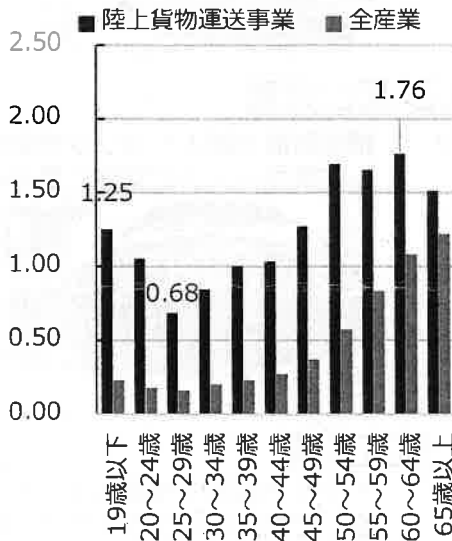
### 年齢が上がるほど転落しやすいので注意

墜落・転落災害の年齢別年千人率（2019年）



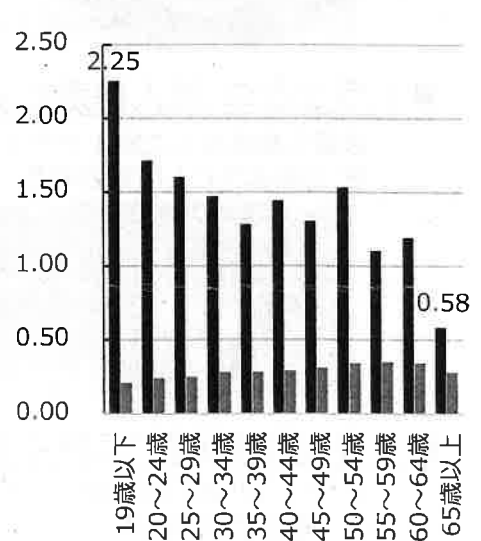
### 50代、60代に加え、20代前後も転倒に注意

転倒災害の年齢別年千人率（2019年）



### 腰痛は若年ほど多い無理させていないか

動作の反動・無理な動作災害の年齢別年千人率（2019年）



## 令和2年5月末現在の労働災害（陸運業）

○令和2年の死傷者数は、前年同期比 **2.0%増加** 13次防基準年の平成29年同期比 **4.3%増加**。

# 今年に入ってから前年比で増加しています

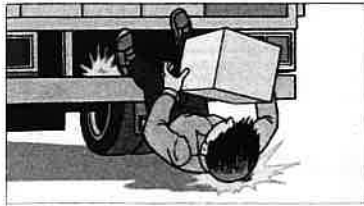


# 荷役作業時の死亡災害にみる災害パターン別の主な原因と対策

## いつもの作業の少しの不具合が、重大事故につながります

### ■トラック・荷台等からの墜落・転落による死亡災害

足を滑らせてリアバンパーから  
転落



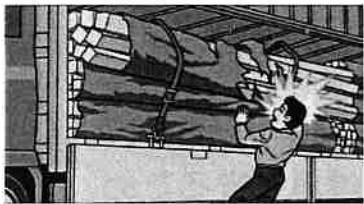
テールゲートリフターから  
転落



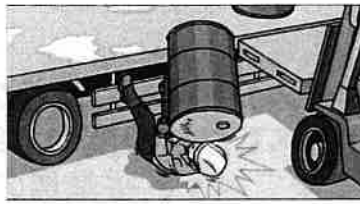
必ず保護帽を着用しよう  
荷台へのステップなど昇  
降設備を設けましょう

### ■トラック・荷台等での荷崩れによる死亡災害

固定ベルトを外した途端に多く  
の角材が落下



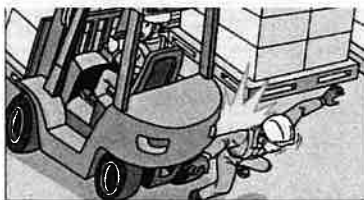
ドラム缶とともに転落。  
ドラム缶が被災者に直撃



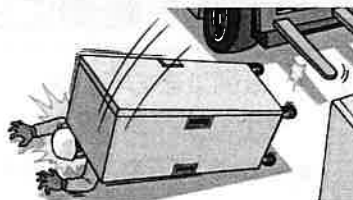
荷崩れしないよう、積み  
付け時に、適切な固定・  
固縛を行いましょ

### ■フォークリフト使用時における死亡災害

歩行者立入禁止エリアにいた被  
災者がフォークリフトと接触



フォークリフトアップ（上昇）時の  
安全不確認により被災者がコールド  
ロールボックスパレットの下敷きに



フォークリフトのオペ  
レーターやその周囲の作  
業者は、定められたルー  
ルをしっかり守りましょ

### ■トラックの 無人暴走による 死亡災害

坂道で動き出した無人トラック  
を止めようとして轢かれる



積雪路面で無人トラックが動き出  
し住宅ガレージの支柱に挟まれる



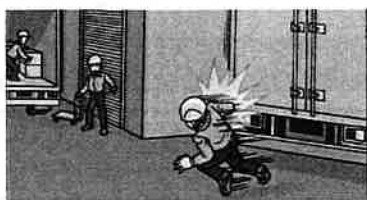
降車時には必ず逸走防止  
措置（パーキングブレー  
キ→エンジン停止→ギア  
ロック→輪止め）を実施  
しましょう

### ■トラック後退時における 死亡災害

トラックの後退誘導時にトラッ  
クと電柱に挟まれる



トラックの荷役作業指示中に 後  
退してきた別のトラックに接触



後退誘導のルールを定め  
ましょう  
トラックを後退させるの  
は後方確認ができるとき  
だけにしましょう

荷役作業を安全に行えるよう、床の凹凸をなくしたり、明るくしたり、  
整理整頓を行うなどの基本的な対策も大切です

陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドラインをご活用ください

